

平成 20 年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修
複合領域コース（建築・土木・環境）受講報告

第二技術室 福田 萬、 安藤 誠、 脇 敬一

9 月 10 日（水）から 12 日（金）の 3 日間標記研修が名古屋大学環境総合館および大学院工学研究科 4 号館実験棟において開催された。

今回の研修は東海・北陸の国立大学法人等の技術職員に対し、その職務遂行に必要な一般的な知識、専門知識および技術等を習得させ、技術職員としての向上を図るとともに職員相互の交流に寄与することを目的とするもので、東海・北陸の複合領域に属する 30 名職員の内 9 機関から 14 名が受講して行われた。その内容は添付資料の通りであり、以下に簡単に紹介する。

1 日目は名古屋大学理事および副総長である杉浦康夫先生からは「名古屋大学耐震改修の現状について」と題して現在行われている名古屋大学内の耐震改修の考え方や地震時におけるキャンパスでの技術職員の役割の講義を、吉本宗充環境学研究科教授からは「東海、北陸の地震」と題して最近起こった内陸地震の怖さや日本列島の活断層（特に東海・北陸）の講義を、護雅史環境学研究科准教授からは「応急危険度判定について」と題して危険度判定の目的および判定方法についての講義を、受講した。

2 日目は講義と実習という形式であり、午前中は福和伸夫環境学研究科教授から「必ず出会う大地震 そのとき大学職員は？」と題して名古屋大学周辺の地層分布およびそれに伴う被害想定とそのとき大学職員はどう家族を守っていけるのかについての講義を受けた後、環境総合館 4 階にある災害対策室の振動台で過去および今後想定される地震波の I_s 値を入力した振動体験が行われた。午後からは丸山一平環境学研究科准教授から「建築分野におけるコンクリートに関わる現状と課題」と題してコンクリート技術の歴史および現在研究の材料による収縮ひび割れの制御についての講義を受けた後、名古屋大学全学技術センターにおいて長瀧宏弥技術専門職員の指導のもとコンクリートの圧縮試験および非破壊試験方法の実習を行った。

3 日目の午前中は 2 日目と同様講義と実習であり、飛田潤地震火山・防災研究センター准教授から「防災に関連する計測技術の理論と実際」と題して災害発生時の統一的対応、情報収集と利用の流れ、建築・土木・環境・防災分野での振動計測の意義および内容について講義を受けた後、名古屋大学全学技術センター技術専門職員の平埴義正氏の指導のもと高精度表面波探査測定器を用いて地盤構造の推定の実習を行った。午後からは現在新築中の医学部附属病院中央診療棟および外来診療棟地下の免震・制御装置の現場見学を行い、今回の研修を終えた。

今回の研修内容は今後起こるであろう地震の怖さおよびそれに対する対策についての研修であり、それぞれの専門の違う受講者にとって良い経験ができたものであり、大変有意義なものであったと思います。最後に、研修受講において準備やお世話して頂いた名古屋大学の技術職員の方々にお礼申し上げる共に、受講させて頂いた関係機関の方々に深く感謝の意を表し、平成 20 年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修の報告とします。

○平成20年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修複合領域コース（建築・土木・環境）日程

1. テーマ：「環境(地震・防災)」
2. 研修目的：東海・北陸地区の国立大学法人等の技術職員に対し、その職務遂行に必要な一般的な知識、専門知識及び技術等を修得させ、技術職員としての資質の向上を図るとともに職員相互の交流に寄与することを目的とする。
3. 対象者：東海・北陸地区の国立大学法人等に勤務する技術職員
4. 参加人数：14名
5. 場所：名古屋大学環境総合館（3F講義室2No.325、3F災害対策室実習室）及び大学院工学研究科4号館実験棟

時刻	12	13	13	14	14	15	16	17	17	19
月日	00	00	30	10	20	50	00	15	30	00
第9月10日(水)		受付	開講式	一般講義 「名古屋大学耐震改修の現状について」 名古屋大学理事・副総長 杉浦康夫 環境総合館 3F講義室2No.325	専門講義1 「東海、北陸の地震」 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 占本宗充 環境総合館 3F講義室2No.325	専門講義2 「応急危険度判定について」 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 護 雅史 環境総合館 3F講義室2No.325		意見交換及び懇親会		
時刻	8	9	10	10	12	13	14	14	17	
月日	30	00	20	30	00	00	30	40	15	
第9月11日(木)	受付	専門講義3 「必ず出会う大地震そのとき大学職員は？」 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 福和伸夫 環境総合館4F 災害対策室	実習1 「振動台による実験と見学」 名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山・防災研究センター 准教授 飛田 潤 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 護 雅史 名古屋大学全学技術センター 技術専門職員 平墳 義正 環境総合館4F 災害対策室、3F 同実習室	休憩	専門講義4 「建築分野におけるコンクリートに関わる現状と課題」 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 丸山一平 環境総合館3F講義室2No.325	実習2 「コンクリート強度実験」 名古屋大学全学技術センター 技術専門職員 長崎 宏弥 大学院工学研究科4号館実験棟				
時刻	8	9	10	10	12	13	13	15	15	16
月日	30	00	20	30	00	00	30	00	30	00
第9月12日(金)	受付	専門講義5 「防災に関連する計測技術の理論と実際」 名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山・防災研究センター 准教授 飛田 潤 環境総合館3F講義室2No.325	実習3 「地盤構造の推定」 名古屋大学全学技術センター 技術専門職員 平墳 義正 (※雨天の場合：紙ぶるの作成等)	休憩	耐震改修工事の現場見学 (病院中央診療棟の免震構造) 施設管理部施設整備課	移動	閉講式	施設見学 名古屋大学博物館 (その他、赤崎記念研究館、物質科学国際研究センターを予定)		